

■ 入電件数と感染者比較

	入電件数	感染者数
令和2年10月	240	1
令和2年11月	797	6
令和2年12月	602	60
令和3年1月	315	61
令和3年2月	408	16
令和3年3月	975	3
令和3年4月	929	60
令和3年5月	585	193
令和3年6月	666	13
令和3年7月	594	177
令和3年8月	363	607
令和3年9月	583	276
令和3年10月	856	103
令和3年11月	667	16
令和3年12月	762	24
令和4年1月	482	2,432
令和4年2月	281	2,172
令和4年3月	393	2,984
令和4年4月	159	4,358
合計	10,657	13,562



11. 所感

島根県では「島根の飲食店・生産者を応援しよう！」をテーマに令和2年11月から令和4年3月（利用期間）まで飲食業界の消費喚起、地域経済の再活性化を目指しGo To Eatキャンペーンを実施。

キャンペーン中、隣県の緊急事態宣言や島根県内のまん延防止等重点措置の影響もあったが前広に対策を講じ、臨機応変に対応した結果、第1期では約30万冊・販売額約15億円、第2期では約70万冊・販売額約42億円、第3期では約77万冊・販売額約54億円を販売。

その結果、第1期は換金額約15億円、第2期は換金額約42億円、第3期は換金額約54億円、利用率については全期間約100%と大きく成果を上げることができ、加盟飲食店へも還元することができた。

食事券利用者に向けたアンケートでの「食事券の満足度約94%、食事券が食事の動機になった約93%」という結果からも本事業が地域経済の再活性化に功を奏したことが伺える。

また、Go To トラベルや県民割が休止する中、Go To Eatキャンペーンが先導し県内の需要喚起を図ることができたと感じている。

令和3年4月の島根県参入の以降はプレミアム率を上乗せし、利用者の購買意欲を促進。

さらには新聞広告・テレビCM・SNS・WEB広告にて広報活動を行った。

県外の購入者（特に中国地方の他県）も一定数おり、宿泊を伴う観光誘致にも繋がったと考える。

その反面、隣県の緊急事態宣言時に県境を越えることや外食のリスクにご意見をいただくことも少なくなかった。期限間際よりも早めにご利用いただくことやテイクアウトが可能なことをお伝えする等、利用者の感情面に配慮した案内を行った。

運営面では精算・コールセンター・データ管理の機能・人員を充実させ、利用者・加盟店などの相談に対し事務局にて組織的かつ速やかに対応した。

加えて、公式ホームページを開設し食事券の販売情報や利用方法、並びに加盟店情報を随時反映、迅速に情報を公開したことによりスムーズな利用環境を構築した。

その一方で加盟審査の基準等、事務局判断では変えられないこともあり一部ご理解いただけずエスカレーション案件になった飲食店事業者がいたことも事実である。

全ての飲食店を救済することは困難だと承知はしていたが、一部条件が満たされない等でお断りするときには心苦しく感じる場面もあった。

しかしながら各所からのご意見を大切に、可能な限り協議・改善し円滑な運営を図った。

島根県の県民性もあり県外の往来をはじめ外出を控えるムードが強かったが、その分県内への還元が大きかったのではないかと思う。

約1年半という長期のキャンペーンを実施したことにより、官民一体で飲食店・生産者の支援を十分に行うことができたと感じている。



政府の飲食店支援事業「GOTOイート」の利用低迷を受け、島根県が登録店舗を約400店舗増やし1800店舗以上にするため、てこ入れを図る。小規模店舗や中山間地域・離島で登録が進んでおらず、商工団体へ登録促進を依頼し、SNS（会員制交流サイト）での情報発信を進める。

県によると、イート事業が利用できる店舗は1日現在で1419店。県内に本社がある飲食店のみが対象だった県の「しまねプレミアム飲食券」と違い、全国チェーン店も対象となっているにもかかわらず、同飲食券の登録数より2

イート 離島、山あいでも

島根県 GoTo登録店増加へ

30店も少ない。このため、宿泊目的以外の旅館や民宿の食事も対象となることなどを周知し、登録が少ない離島・中山間地域の店舗に対し商工団体を通じて登録を呼び掛けるほか、SNS広告でPRする。新型コロナウイルス対策調整費2千万円を充てる。

イート事業は、1冊4千円で5千円分利用できる食事券をコンビニエンスストアのロソンで販売。購入期限は2月末、利用期限は6月末。発行予定最大100万冊に対し、2月1日現在で約17万4千冊にとどまっている。

(木幡晋介)

GoToイート食事券 3月の対面販売

販売日	場所	会場
4日	松江市	島根県民会館 2階第一多目的ホール
11日	安来市	アルテピア 1階展示室
16日	益田市	益田高会議所 1階大ホール
17日	浜田市	石央文化ホール 2階小ホール
18日	江津市	江津商会議所 2階研修室
19日	大田市	大田市民会館 2階第一会議室
24日	雲南市	チェリヴァホール 3階大会議室
25日	出雲市	ビッグハート出雲 2階茶のスタジオ
30日	奥出雲町	奥出雲町玉峰山荘 会議室

※販売時間は各会場とも午前10時から午後3時まで

購入をためらうケースがあるため、対応することを決めた。松江、浜田、出雲、益田、大田、安来、江津、雲南の計8市と奥出雲町で3月に1日ずつ販売日を設け、午前10時から午後3時まで会場で職員が販売する。斎藤忠志支店長は「一人でも多くの県民に利用してもらい、飲食店利用の一助になれば」と話した。食事券は1冊4千円で5千円分利用できる。購入期限は3月末まで、

イート食事券手渡しで買えます

島根8市1町の施設で

国の飲食店支援事業など県内8市1町で食事券を対面販売する。食事券はコンビニエンスストアのローションの情報端末「ロッピー」で買えるが、機械操作に不慣れな人が

利用期限は6月末まで。2月16日時点の販売実績は約19万9千冊にとどまっている。購入期限が延長されれば、4月以降も対面販売を検討する。(木幡晋介)

山陰総合 sanin

GoToイート来月再開

7000円分食事券 5000円で販売

10月からのGoToイート島根版

7,000円の食事券 (500円券×14枚)
5,000円で販売

販売期間: 10/1~11/15
10~15時のみ(土曜日は9時~15時)
利用期間: 10/1~12/15
(9/30まで有効の食事券は利用不可)

24

新型コロナウイルス感染症大の影響を受ける飲食店を支援する国の「GoToイート」の島根版が10月1日に再開する。7千円分の食事券を5千円で販売し、消費拡大を後押しする。

販売期間は10月1日~11月15日、県内のレストランや居酒屋など1891店舗(9月14日現在)で10月1日~12月15日に利用できる。

コンビニエンスストア・ローションのウェブサイトで申し込むが、島根県内では市内の

情報端末「ロッピー」で購合できる。島根県民利用金庫に、ね信用金庫、日本信用金庫、奥出雲商工会、一都トラベル

情報端末「ロッピー」で購合できる。島根県民利用金庫に、ね信用金庫、日本信用金庫、奥出雲商工会、一都トラベル

24日午前10時~30日午後1時59分、島根中央信用金庫など3店金の店舗では27~30日、それぞれ予約できる。食事券は500円券14枚づつで、1人1回あたり4冊(購入価格5千円)まで買える。

これまでに販売した有効期限が6月末より月末の食事券は10月1日以降、使えなくなる。問い合わせは食事券事務局、電話0854-2207077

14、受付時間は平日午前10時~午後5時。(奥出雲町の

サービスセンター、松江、浜田、出雲、益田、大田、安来、江津、雲南の計8市と奥出雲町で3月に1日ずつ販売日を設け、午前10時から午後3時まで会場で職員が販売する。斎藤忠志支店長は「一人でも多くの県民に利用してもらい、飲食店利用の一助になれば」と話した。

鳥取県 団地高齢者ICTで見守り

米子 瓜虫花方上ノ尾正三氏